

令和元年度第6回日光市混合6人制バレーボール大会要項

主催 日光市体育協会バレーボール部

- 1 目的 本大会を通して、地域社会の活性化を図ると共に、幅広い年齢層、レベルも上級者から初級者といろいろな方々に気軽に参加して頂き、いろいろなチーム、人との交流を通してバレーボールの楽しさや喜びを知ってもらい、日光市のバレーボールの普及、発展を目的に開催する。
- 2 期日 令和2年2月23日(日曜日) 受付 AM9:15~AM9:30
- 3 種目 男女混合6人制バレーボール
- 4 会場 今市運動公園体育センター
- 5 競技規則 NPO法人日本混合バレーボール協会発行 混合バレーボール競技規則公式ルールブックに基づいて行われる。
 - ・ネットの高さ 224cm
 - ・試合人数、男性3名、女性3名、リベロ男女各2名ずつ、控え男女各1名ずつ合計12名但し、男性の参加人数が足りない場合のみ男性2名、女性4名も認める。
 - ・男性のアタックラインを超えた位置での攻撃を禁止する。(男性による攻撃はバックアタックのみ)なおアタックライン前でのジャンププレーで攻撃にあたらないうものに関しては(ブロック等)制限はしない。
- 6 試合球 JMVA認定球MVB001又はMVA001(混合バレー公式球)使用
- 7 大会方式 変則2ブロック制による順位決定後、各ブロック1位のチーム同士による決勝戦又はトーナメント方式。抽選は当日会場にて行う。
- 8 審判 不慣れなことと思いますが、各チームでの審判よろしくお願いします。
- 9 参加料 1チーム 1,000円
大会としての団体保険には加入していませんので、怪我には十分注意して自己責任でお願いします。
- 10 申し込み・問い合わせ 下記宛てに電話連絡にて申し込み、所定の申込用紙に必要事項記入し当日受付に提出してください。申し込み締め切り期日は、令和2年2月9日(日曜日)までとし先着12チームとする。

強化普及委員長 中田 真吾

Tel 090-5323-8656

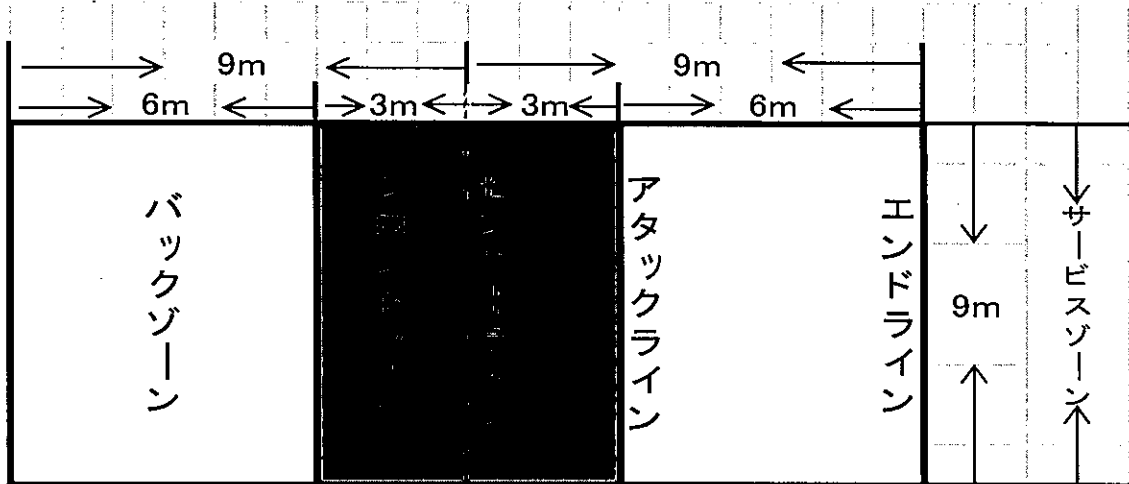
令和元年度

第6回日光市混合6人制バレーボール大会申請申込書

チーム名			
代表者名			
代表者連絡先		住所	
		TEL	
監督名			
コーチ名		マネージャー名	
選手一覧		主将は背番号に○印をつける	
選手番号	氏名	住所	
リペロ			
リペロ			
リペロ			
リペロ			

6人制混合バレー簡易ルール

1. 概要ルールとしては、公益財団法人日本バレーボール協会（以下JVA）の6人制バレーのルールブックをもとに作られており、混合バレーを競技する上で必要なJVAとの相違点をいくつか簡単ではあるが、紹介します。
2. コート、ネットの高さ、及びバレーボール用具について
コートライン ①サイドライン : コートの両サイドにある18mのライン
②エンドライン : コートの両エンドにある9mのライン
③センターライン : コートの中心にある9mのライン
④アタックライン : センターラインから3m後方のライン



ネットの高さ及びバレーボール用具

ネットの高さ : 224m

サイドバンド : 2本のサイドバンド（白帯）がサイドライン直上のネットに垂直にしっかり取り付けられる。

アンテナ : アンテナはサイドバンドの外側の縁に接して取り付ける。

ボール : ボールはJMV A認定球MV B001又はMV A001を使用
円周 : 65~67cm
重圧 : 240±10g
内気圧 : 300±10hpa

3. JVAとの大きな相違点とおおまかなプレイルール

①チーム構成

チームの登録競技者人数は、男性3名以上、女性3名以上の合計12名までとする。

②男女交互ローテーション

男女が必ず交互になるようにフォーメーションに入り、サーブレシーブをしたチーム

がサーブ権をえたときそのチームの競技者は時計回りに1つずつポジションを移動する。

③リベロ競技者

チームは12名の競技者リストの中から専門的な守備の為のリベロ競技者を男女各2名、合計4名登録することができる。

(1)リベロ競技者はバックの位置にいるどの同性競技者とでも交代することができる。その交代は、正規の競技者交代の回数には含まれず、回数は無制限である。なおコートに入ったリベロ競技者は入れ替わった競技者とのみ交代することができる。リベロ競技者からリベロ競技者への交代は認められない。

(2)リベロ競技者はバック競技者としてのみ試合に参加することが許され、どの位置からもネット上端より完全に高い位置にあるボールをアタックヒットを完了することはできない。

(3)リベロ競技者はサービス、スパイク又はブロックの試みをすることはできない。

(4)リベロ競技者がフロントゾーン内でトスしたボールを、その次の動作で他の競技者がネット上端より高い位置にあるボールに対して、アタックヒットを完了することはできない。しかしリベロ競技者がフロントゾーンより後方の場合はその制限は適応されない。

(5)コート上に男女計3名のリベロが同時にコートに立つことは許される。

④競技形式

試合は3セットマッチとし最少限2点差をつけて25点を先取したチームが勝者となる。但し34:34になった場合は35点目を先取したチームが勝者となる。

⑤競技者交代の制限

1セットにつき1チーム最大6回の競技者交代が認められる。スターティングメンバーは交代によりコートを離れても再度コートに戻ることができる。但しコートに戻れるのは1試合につき1度だけで、交代をした競技者とのみ交代することができる。

⑥競技者の反則

(1)競技者はラリーの前後に関わらず相手コートに入ってはならない。

掌、シューズはセンターラインを超えていても、センターラインを踏んでいれば反則には当たらない。但し掌、シューズ以外の場所は(例えば腕)超えることは許されない。

(2)タッチネット

競技者がラリー中、ラリーの前後「掴む、叩く、寄りかかる」ラリー後「ぶつかる」にネットに触れた場合タッチネットの反則が適応される。尚、ラリー終了後のタッチネット行為に関しては、他の反則やプレーよりも優先して適応される。

但し、ネットの揺れを止める行為は反則にあたらぬ。

(3)オーバーネット

相手空間内にあるボールを片手のみを使用して、ティッピング(軽いタッチ)、及びヒット、ダイレクトスパイクしてはならない。但し両手で(ブロック)触ろうとして片手のみ当たってしまった場合は適用されないが、アタック以外(相手チームのトス)を妨害した場合は、オーバーネットの反則になる。

(4)サービス

サービスはバックライトの競技者が打つ。

サービスは1人1本。

ボールがネットに触れても、相手コートに入ればよい（ネットイン可）。

ジャンプサーブの禁止（サーバーが両足を地面から離して、ボールを打つ行為）

(5)アタック

フロント競技者が味方のプレー空間内であれば制限は特にない。但しリベロ競技者がフロントゾーン内でオーバーでトスをあげた場合は白帯より上でアタックヒットしてはならない。

バックアタックは、アタックラインを超える（又は踏む）ことがなければ反則にはならない。

(6)男性のプレー制限

男性のアタックラインを超えた位置での攻撃を禁止する。（男性による攻撃はバックアタックのみ）なおアタックライン前でのジャンププレーで攻撃にあたらぬものに関しては（ブロック等）制限はしない。

(7)9人制と6人制のルールの違いで注意して欲しいこと

・ブロックにボールがあたってボール接触回数としてカウントされない。

9人制だとネットを使って1人で2回ボールに触れる（ネットプレー）&ネットを使えばトータル接触回数4回でもオーバータイムスにならなかったが、2つのプレーともそれぞれ、ダブルコンタクト、オーバータイムスという反則になる。

参考までに簡易ではありますが、主なルールをまとめさせていただきました。説明不足な点や、分かりづらい点などあると思いますがその際は、お手数ではありますがルールブックを参照していただくか、係の役員に確認を取ってください。尚、大会によっては男性のプレーに制限を設定、例えばブロックの際オーバーネット禁止やバックアタックのみ（その際は上記の特別ルール※は適用外となる）といったようなものを設ける場合がある。またローカルルールとして男女比を1:5や2:4といったものでも可にしている場合もある。

今大会において、男性の攻撃はバックアタックのみとし、混合男女比は3:3または2:4までとする。

最後に沢山の人に混合バレーを楽しんでいただくために心得て欲しいこと

- ・男女で行っていることの自覚、異性への尊敬を忘れない。
- ・力に任せた行動はしない。
- ・セクハラだと誤解される発言、行動はしない。
- ・周りの人たちが不快に思う発言、行動はしない。
- ・よき汗をかき、よき声を出して混合バレーを楽しむ。
- ・混合バレー競技者は仲間である意識を持つ。